

パソナの子会社で福利厚生代行最大手のパネフ・イト・ワン(東京・新宿)白石徳生社長は、保険代理店などと共同でSOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)向けに保険商品や福利厚生サービスを提供する新会社を設立した。安田火災海上保険と共同開発したIT(情報技術)保険などのメニューをそろえ、八月から会員募集を開始する。

## SOHO向け 福利厚生・保険

新会社名はマイクロビジネスライフサポート(東京・文京)。資本金は一千万円。保険代理店のアイリックコーポレーション(東京・文京、勝本竜二社長)が八〇%、パネフ・イト・ワンとシンクタンクの志本サテライトオフィス・ビジネスセンター(埼玉県志木市、柴田郁夫社長)が一〇%ずつ出資した。五年後には四百万人にまで膨らむSOHO従事

## パソナ子会社など 新会社設立

者を多様なサービスで囲い込む。年会費は一人九千六百円(十人以上の団体加入は九千円)。IT保険はコンピューターウイルス感染が原因で第三者に損害を与えた場合、一事故最大三百万円まで賠償責任を補償する。さらに年間五千円を支払えば、ウイルス感染などに伴って自社のパソコンのデータが破壊された場合、復旧費用を最高二十万円で補償する。

このほか全国の宿泊施設やスポーツ施設などを割引料金で利用できる福利厚生サービスや、即日決済で、上限五百万円まで借りられる個人事業者向けローンなども含む。SOHO関連の社団法人、日本テレワーク協会によると、二〇〇一年末時点のSOHO従事者は約百万人。インターネットの普及などにより、五年後には約四倍に膨らむと予想している。